

のみSDGsパートナー活動状況報告書

能美市長 宛て

所在地 能美市寺井町

企業・団体・個人名 のみ♡子育てネットワーク

1. 活動内容及び効果

①子育て応援イベントとして、「絵本カフェ」を3回開催した。
親子で絵本を楽しみながら、大人にはゆっくりとお茶を楽しんでもらう場を提供した。カフェでは、作家による九谷焼カップを使用し、日々子育てに邁進する保護者にホッと一息ついてもらえるよう配慮した。

会場では、『絵本 みんなでリユース』スペースを設け、絵本カフェ利用者同士での絵本再利用を促した。



②自然体験企画「ぼくもわたしもトムソーヤ！」を開催した。川でのイワナ掴みでは、「魚を捕まえ、捌き、串に刺す、焼いて食べる」命を頂く体験を子供達にさせることができた。普段できない経験を通した「自分で出来た！」の達成感は、子どもたちのチャレンジ精神を育み、自信につながるものになったと思う。



③子育て応援フリーマーケットを開催した。他団体である、「能美市社会福祉協議会の親子サロン」や「三道山子ども食堂」で、寄付により集められた物品や中古子供服などが提供されて残った物を、当団体で受け取り、フリマイベントで利用し、無駄なくリユースすることができた。子育て世代の応援だけでなく、廃棄物の削減にも貢献することができた。



④能美市内7校の小学校4～5年生を対象として、「福祉体験授業」を実施した。妊婦体験と発達障害・感覚過敏について授業を行った。

「妊婦体験」では、重くしたランドセルを前に担ぎ、階段の上り下りをした。前がよく見えない、不安定、靴が履きにくいといった体験を通して、妊婦に対する配慮の必要性や命の大切さに気づいてもらった。妊娠出産の過程を経て生まれた「自分の命」が大切であることを伝えられたと思う。

「発達障害・感覚過敏」では、絵本などを用いて、実際例を示しながら、多様性や見えない障害について知ってもらった。自分とは違うお友達の様子を見たときに、「もしかして、困っているのかな?」「何かできることはないかな?」といった視点を持ってもらえたらと思う。



⑤不登校児童・生徒支援として、不登校を考える親の会『やわやわ〜っと。』を月1回開催した。当事者の親同士が情報交換をしたり、気持ちを共有したりするなかで気づきや学びを得る場を提供できた。

また、不登校児童・生徒やその保護者に向けて講演会を行った。オンライン参加も含め、約50名が参加した。参加者が自分を見つめる機会となり、それぞれの気付きを得た。

講演会の開催情報は、能美市教育委員会の協力を得て、コドモンにて配信し、講演会チラシ印刷枚数の減少に務めた。



⑥障がい者応援として、「ゆるにこひろば」を月2回開催した。障がいがあるお子さんを育てている方、または、障がいがあり子育てをされてる方やそのご家族の交流と情報交換の場所を提供できた。

大人の障がい者の第3の居場所としても利用してもらえるように、場所を能美市地域共生交流館に変更して開催した。

社会福祉協議会の春まちぼかぼかプロジェクト内でのイベントでは、障がいの有無、年齢に関わらずたくさんの人に交流してもらえた。



⑦子育て応援イベントとして、「のみっこごちゃまぜひろば」を開催した。地域団体や福祉関係団体と協力し、手形アートクラフトの製作・有料/無料ゲームコーナー・物販を行った。年齢・性別・国籍・障がいの有無を問わずみんなが楽しめる場づくりができた。



2. 今後の活動予定

- ①各イベントの打ち合わせでは、なるべく紙印刷を削減するよう努めながら、活動していく。
- ②『ゆるにこひろば』が、障がい者の第3の居場所にもなるように、色々な配慮工夫をしていく。
- ③年齢・性別・国籍・障がいの有無を問わず、みんなが楽しめる場を提供し、地域共生社会を進めていきたい。